

一般質問から

つくばエクスプレスの開業に伴い南部地区の魅力ある街作りについて

Q 平成17年秋のつくばエクスプレスの開業に合わせ、

南部地区の区画整理事業が進められていますが、いかに、八潮市が魅力ある都市として人を引きつけることが出来るか重大な時に差し掛かっています。そこで、保留地をまとめ、街区単位で住宅街建設や分譲を行い、多くの人達に八潮をアピールし、住んでみたい街としてPRすることが必要と考えるが、その考えについて伺います。

A まず、中央地区の駅北口に共同利用街区を設けて、地権者の方々から希望者を募りいわゆる申し出換地と保留地で

大街区の集約化に努めたところであり、約2・8haのうち2・1haに商業事業者が商業展開することになりました。残りの約0・7haにつきましても近々、住宅事業者を公募する予定です。しかし、現在の事業の進捗からみて、他の街区の集約化は大変厳しい課題ですが魅力ある街づくりを実現するためには、大変貴重なご提言であると認識しておりますので、何らかの対応を検討したいと考えているところであります。

初山 繁雄

八潮南部土地区画整理事業について

Q つくばエクスプレス開業時に駅前の区画整理がどの程度の上がり状態を考えているのか伺いたします。

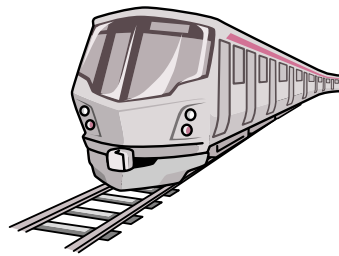
A 駅北口については、北口交通広場、駅前通り北口線及び坊三郷線と区画街路の一部が築造され、それらに水道、ガス、下水等を完備する予定となっております。

駅北口は、駅開業時における極めて重要なアクセス機能を持つことになるため、八潮市、都市基盤整備公団とも最重要課題と認識しており、駅開業時までは、ライフラインも含め工事の完成に万全を期して参りたい

と考えております。

駅南口については、現況道路等を利用して駅にアクセスする予定になっており、街路の築造やライフライン等の整備については、駅開業後に予定しております。

織田 一



環境行政について

Q ポイ捨て禁止条例制定の進捗状況について伺います。

A 市民政策提言会議で、広く環境美化に対するご意見を伺い、具体的な方策の検討を行って来ました。「彩の国まごころ国体」の開催、平成17年「つくばエクスプレス」の開業に向け、日頃より数多くの市民の皆様が、高速道路の側道はじめ草加八潮工業団地内の道路、大曾根地内及びエイトアリーナ周辺等でゴミの収集のボランティア活動にご尽力をいただいております。こうした方々のご意見の中にも、市で地域の生活環境に

配慮した独自のポイ捨て禁止条例の制定を望む声が多く聞かれましたことから、現在、条例の整備に向けて、先進市の情報の収集及び具体的な検討を行っております。

今後の予定としましては、今月中に条文など精査し、来月には、地方検察庁のご指導をいただき、9月には、その内容のご審議をいただけますよう準備を進めたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

峯岸 俊和

八潮市の将来都市像について

Q 第4次八潮市総合計画基本構想の第2章、将来都市像で地域核として来年秋開通予定のつくばエクスプレス沿線に

東部拠点位置付けされております。現在その近くには、老人福祉センター寿楽荘があり、高齢者の憩いの場として利用されております。しかしながら、この施設は、老朽化が進んでおりそろそろ建て替えの時期が来ていると思えます。そこで、この施設を建て替えて、地域核の東部拠点としてコミュニティの場となる複合施設を建設してはどうかと思えます。また、建設に当たりPFI手法を導入するこ

とについて伺います。

A 建て替えを検討する時期が、将来に来ると思えます。その際に、複合化の検討を行うべきと考えており、高齢者のための寿楽荘を基本に、子供達のために児童館、市民活動を支援するボランティアセンター、あるいは農産物直売所等々、併設可能な施設が考えられます。

また、東部拠点は、「ゆまに」周辺を想定していますが、設置位置の問題やこの施設にPFI手法が有効な手法かどうかを検討したいと考えております。

柳澤 功一

街づくりと市民サービスについて

Q 八潮駅前における市等の行政施設の導入はどのようなものか現在の整備検討状況について伺います。

A 市の顔となる魅力ある中心核の形成を目指しております。駅前通り北口駅前広場は、可能な限り景観形成に配慮し、安全性と快適性を確保し賑わいのある市民の交流の場となるように整備していきたいと考えております。また、駅北口共同利用街区につきましては、2・1haを商業施設、0・7haを住宅棟と行政施設に整備して参ります。

なお、首都圏新都市鉄道(株)は

渋谷 敏男

文化芸術振興策について

Q 小中学生に本物の芸術にふれる機会を増やしていく取組について伺います。

A 山本學氏が主演となる演劇「畏」、脇坂奎平氏が主宰する演劇「鞍馬天狗」の舞台稽古を、演劇を身近に感じ取ってもらうため、舞台稽古を公開してはどうかとの助言を両氏からいただいております。その実現に向けて学校と協議しながら、市内の小中学生にも、無料で公開していきたいと考えております。

また、「鞍馬天狗」に登場する子役などを八潮市内に在住する市民から募集することを計画しております。

戸川 須美子

今後とも、教育委員会、市内小中学校との連携を密にし、小中学生に、本物の芸術にふれる機会を増やせるように努めて参りたいと考えております。

